



営農タイムリー！



防除所ニュース

2024年7月30日発行

発生予察注意報

京都府病害虫防除所より、
発生予察**注意報** 第2号が発表されました。

作物名 **水稲**

病害虫名 **斑点米カメムシ類**

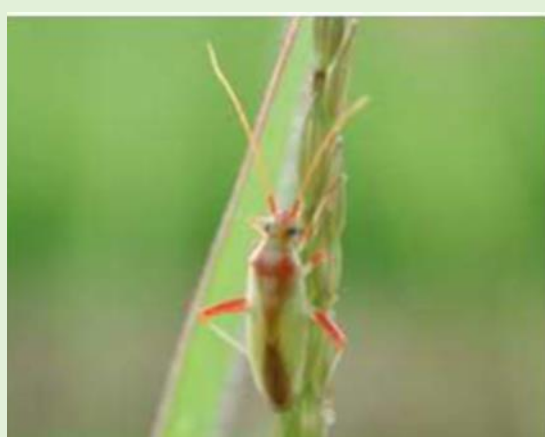
1. 発生地域 府内全域
2. 加害時期 出穂期から収穫期まで
3. 発生量 平年比多い
4. 防除時期 出穂期、揃期及び傾穂期
5. 注意報発令の根拠

(1) 7月中旬に行った水田内のすくい取り調査の結果、府内全域の確認ほ場率は23.3%で平年比やや多く、平均虫数は1.5頭で平年比多い。

主要な発生種は、**アカヒゲホソドリカスミカメ**(写真1)、**アカスジカスミカメ**(写真2)、**ホソハリカメムシ**(写真3)、**クモヘリカメムシ**(写真5)及び**イネカメムシ**(写真7)であった。



(写真1)アカヒゲホソドリカスミカメ



(写真2)アカスジカスミカメ



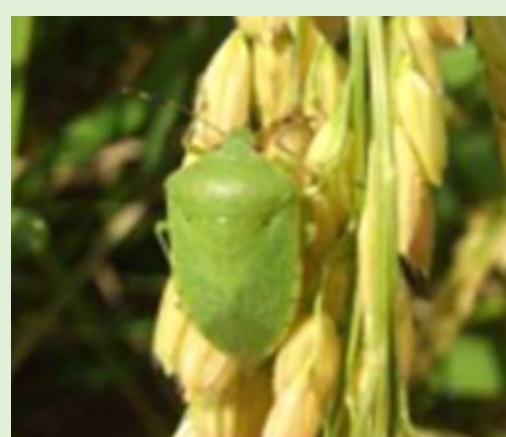
(写真3)ホソハリカメムシ



(写真4)トゲシラホシカメムシ



(写真5)クモヘリカメムシ



(写真6)ミナミアオカメムシ



(写真7)イネカメムシ

- (2) 7月中旬に行った畦畔のすくい取り調査の結果、山城では平年並、南丹では平年比やや少なかったが、中丹及び丹後では平年比多い発生。
- (3) **イネカメムシ**の予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比多く、亀岡市で平年比やや多い(+)
- (4) これまでに山城地域と丹波地域の一部で**ミナミアオカメムシ**(写真6)の発生を確認している。**ミナミアオカメムシ**の予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市では誘殺を認めていない(平年並)。予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。
- (5) 向こう1か月の気温は平年比高い(+)と予想されている。

6. 防除上の留意事項

(1) 耕種的防除

斑点米カメムシ類はイネ科雑草の種子を餌にする。したがって、水田周辺のカメムシ類の生息密度を下げるためには、畦畔の草刈りを行うことが有効である。草刈りは、イネが出穂する2～3週間前と出穂直前の2回行うと効果的である。作業の都合上、1回で済ませる場合は、必ず出穂の10日前までに草刈り等を済ませる。

出穂期に近づきすぎたから行くと、カメムシ類を水田に追い込み、かえって逆効果となる。水田内のイネ科雑草は、カメムシ類の水田への侵入を助長するので出穂前に除草する。

(2) 農薬による防除

カメムシ類の密度が高い水田では、薬剤による防除を穂揃期と傾穂期の2回行うことが望ましい。

近年、**イネカメムシ**の発生量が増加している。他の**斑点米カメムシ類**と異なり、出穂期に水稻の籾の基部を吸汁して不稔籾を生じさせ、穂が充実せず直立する。そのため、イネカメムシが多発している場合は、穂揃期以降ではなく出穂期から防除することが重要である。また、穂揃期以降に加害されると籾の基部が変色した斑点米を生じ、等級格下げの原因となる。

農薬の散布にあたっては散布適期を確認し、周辺作物に飛散しないよう十分注意する。また農薬の選択にあたっては、使用基準を遵守して適正に使用する。

斑点米の種類



【頂部加害型】
カスミカメ類



【側部斑紋状
(無差別加害)型】
ミナミアオカメムシ
ホソハリカメムシなど大型



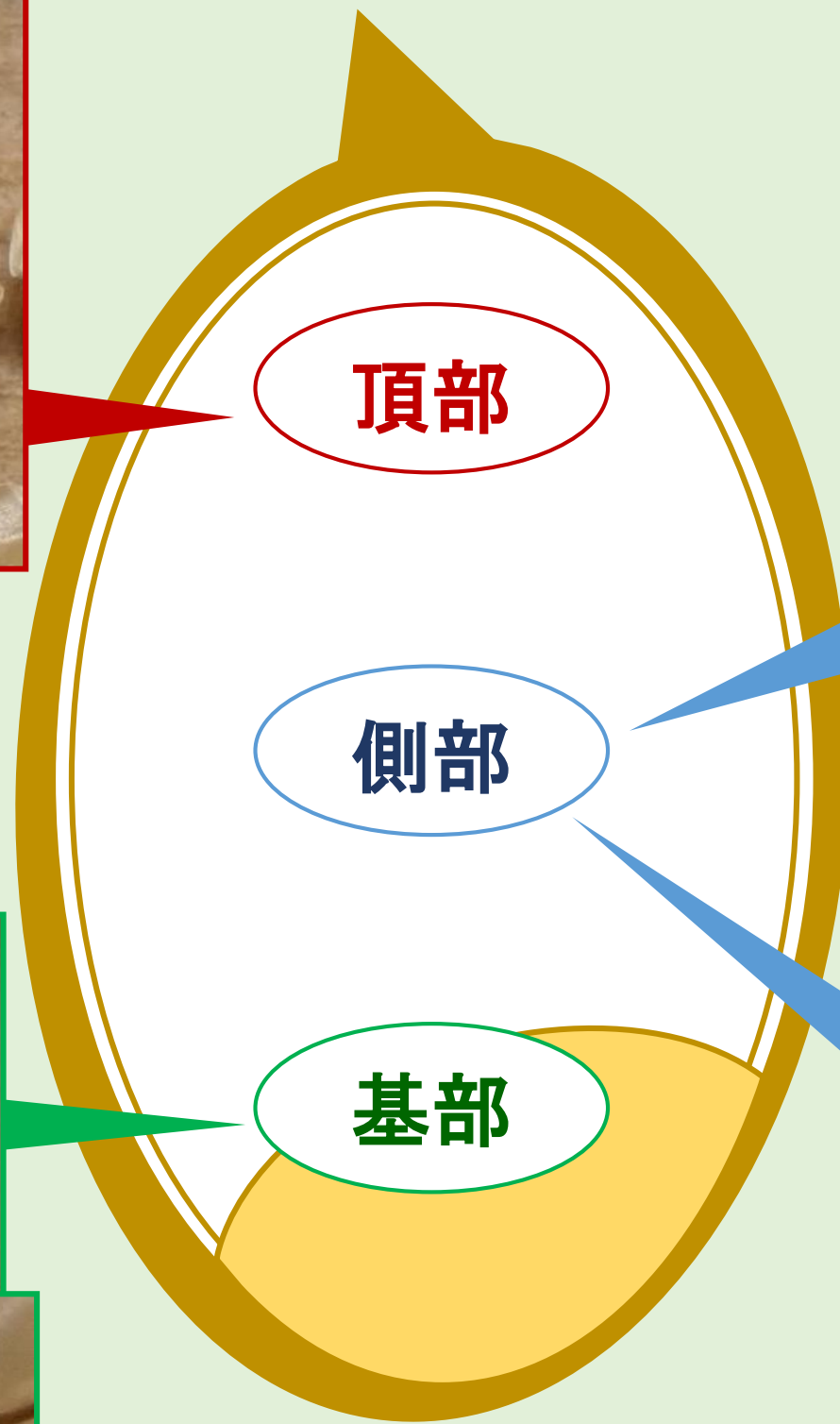
【基部加害型】
イネカメムシ



全体 【くさび状加害型】
カスミカメ類
(イネシンガレセンチュウの可能性もあり)



【側部しみ状加害型】
カスミカメ類



稲 カメムシ類 登録薬剤

2024.7

成分系	IRAC コード	薬剤名	病害虫草名	希釈倍数、 使用量 / 散布水量	使用時期 / 使用方法	本剤の 使用回数	成分別 総使用回数
フェニルピラゾール系	2B	キラップ 粒剤	ウンカ類 カメムシ類	3kg/10a	収穫14日前まで / 湛水散布	2回以内	2回以内(は種時(直播)又は移植時までの処理は1回以内)
		キラップ フロアブル	イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 ウンカ類 カメムシ類	500倍 25L/10a 1000~2000倍 60~200L/10a	収穫14日前まで	2回以内	
		キラップ 粉剤DL	イナゴ類 ウンカ類 カメムシ類	3~4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	
ネオニコチノイド系	4A	スタークル 豆つぶ	カメムシ類	250g/10a	収穫7日前まで	3回以内	4回以内(但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
		スタークル 粒剤 アルバリン 粒剤	イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	
		スタークル 粉剤DL アルバリン 粉剤DL	イナゴ類 イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	
		スタークル 顆粒水溶剤 アルバリン 顆粒水溶剤	カメムシ類	2000倍 60~150L/10a	収穫7日前まで	3回以内	
		ダントツ 粒剤	カメムシ類	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	
		ダントツ 水溶剤	イネアザミウマ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ イネドロオイムシ ウンカ類 カメムシ類	4000倍 60~150L/10a 1000倍 25L/10a / 収穫7日前まで 散布【ブームスプレーヤー】	収穫7日前まで	3回以内	
有機リン系	1B	スミチオン 乳剤	アブラムシ類 アワヨトウ イネシガラセンチュウ イネツトムシ イネドロオイムシ カメムシ類 ヒメビウンカ	1000倍 60~150L/10a	収穫21日前まで	2回以内	3回以内(但し、種もみへの処理は1回以内、育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)
ピレスロイド系(殺虫剤)	3A	トレボン MC	イネドロオイムシ カメムシ類 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	2000倍 60~150L/10a 600倍 25L/10a	収穫14日前まで	3回以内	3回以内
		トレボン 乳剤	イネミズゾウムシ カメムシ類 カメムシ類	2000倍 60~150L/10a 600倍 25L/10a	収穫14日前まで / 散布【ブームスプレーヤー】	3回以内	
		トレボン 粉剤DL	アザミウマ類 イナゴ類 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ成虫 ウンカ類 カメムシ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ	3~4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	